

基調報告

ロシア東部のガス産業、ガス化学、ガス化の発展展望

(株)ガスプロム副社長顧問 アレクセイ・マステパノフ

東ロシアにおける天然ガスの採掘、ガスの輸送、ガスの加工、地方におけるガス化という問題に焦点を当てて話したい。

まずロシア経済全体を見ると、資本投資、輸出収入、外国投資、鉱工業生産が安定的な成長を見せており、石油生産は2005年に4.7億トン（対前年比102.2%）に達した。

2005年のロシアの天然ガス産出量は6,380億立方メートル（638Bcm）に達した（対前年比100.9%）。石油及び天然ガスの国際価格が高く、その結果、輸出が拡大し、対外貿易黒字が1,200億ドルまで増加した（貿易高は3,700億ドル、対前年比132%）。2006年1月までに、ロシアの株式市場（取引の3分の2は石油・天然ガス関連企業）のインデックスが対前年比185%となったのに対し、ガスプロム社の市場資本価値はほぼ3倍に増加し、1,520億ドルに達した。ガスプロムを含むロシアの石油・天然ガス企業の総合的な開発見通しは非常に良好である。

さらに、ロシアでは2005年に経済特区連邦法及び利権協定連邦法の採択、投資基金の設立などを含む制度改善を目指す重要な動きがあり、大規模な投資プロジェクトの実施及び外国投資の誘致のために条件が整いつつある。

ロシア中央政府及び立法府は、森林管理、水資源管理及び地下資源の利用に関する新しい規則を導入するための努力をし、京都議定書を実行するためのロシアの法的な準備を大きな課題としていた。

政府は電力産業の改革案及びロシア社会経済発展中期プログラム（2006 - 2008年）を承認した。2006年は、石油を中心とした地下資源採掘の新しい課税制度の導入を含む重要なステップとなると見込まれている。

2005年に連邦予算収入がGDPの23.6%に達し、黒字が安定的に増加する傾向にあった。金・外貨準備高は2006年初頭に1,820億ドルになり、安定基金は500億ドルを超え、ロシアの対外債務はかなり返済することができた。

こうした動向の中で、政府及びガスプロムは、シベリア連邦管区及び極東連邦管区（面積はロシア全土の60%、人口1,630万人でロシア全土の11.3%）を含む東ロシア（18州・地方）のガス化の見通しを明らかにした。ロシア全体の水力資源の70%、石炭埋蔵量の84%、石油資源の約50%、そして天然ガスの約25%がこの東部の地域にある。天然ガス埋蔵量は44兆立方メートル（大陸棚のガス田を除く）以上

であると推定されている。

ロシアの最大企業、そして世界最大エネルギー企業の一つであるガスプロムは、東ロシアにおける天然ガスの開発に主要な役割を果たす。2005年、ガスプロムはシブネフチ社を買収して石油産業にも関心を持つようになり、また、ヨーロッパにおけるガス輸送への参加を強化し、北欧ガスパイプライン建設及び大陸棚のシュトクマンガス田の開発に関する協定を結んだ。当社の最大目標は、ヨーロッパにおける新販路開発、ロシア北東部での大陸棚ガス田の開発、及び輸出ルートの多様化である。

もう一つの大きな目標は、新しい地域におけるガス田の開発、石油産業への進出による多様化、資源加工の促進、及び電力産業への進出による多様化によりガスプロムの市場価値を約3,000億ドルまで増加することである。

自社の活動を東ロシアまで拡大することはガスプロムの戦略的な目標だ。一方、この地域はロシア全国の将来及び隣国のエネルギー安全に大いに貢献するだろう。この意味で、輸入国のエネルギー安全保障を向上する最も効率的な方法は長期協定の締結だと思われる。

ガスプロムの東ロシアにおける優先課題の一つは、クラスノヤルスク地方（石油、ガス及びコンデンセート）、イルクーツク州（探査及び地方ガス化）、サハ共和国、ハバロフスク地方及びサハリン州（RDシェルとのスワップ協定）を含む地域で大量の天然ガス資源基盤を形成することである。

これは、2006 - 2015年に大規模な探査及び開発活動を行い、地方政府とのガス化プログラムに関する協力協定を結ぶ必要があることを意味している。ガスプロムは、2030年までに東ロシア、具体的にはイルクーツク州、サハ共和国、サハリン州、クラスノヤルスク地方で新しいガス田を発見し、自社のガス埋蔵量を約6,000Bcm増やすことを期待している。これらの4つの新しい生産センターがロシアの統一天然ガス供給システムに統合されることになる。この「ロシア東部ガス化プログラム」計画は、最終的に2006年末までに採択されると思われる。

昨日、北京でプーチン大統領と胡錦濤主席との会談があった。ガスプロムと中国石油天然気集団（CNPC）との覚書が調印され、プーチン大統領は同行記者団との会見で、中国へのガス供給が東・西シベリアからの2つのルートで

行われると明言した。さらに、ロスネフチとCNPCとの石油協力の深化、ロシアからの電力供給のFSの検討など、エネルギー部門の協定が調印された。

東部ガスプログラムの一部は、東ロシアにおいて天然ガスから貴重な成分（ヘリウム、プロパン、ブタン及びエタン）を抽出することを目指している。ロシア政府は、その加工、高付加価値製品の製造に大きな関心を持っており、このプログラムはガス産業発展の基礎となる。

ヘリウムは、人間生活および原子力産業を含むハイテク産業に非常に広く利用することができる「未来の材料」になる可能性がある。しかし、ロシア及びガスプロムはDME及びGTL生産を含む新しいガス加工産業を育成する

際に、海外からの投資及び技術協力を必要とする。ガス加工、ガス化学工業、機械・設備製造などの分野における合弁企業の設立はロシアの重要な目標となるだろう。

ロシアは、世界の天然ガス生産国であり第2位の消費国だ。この状況は、統一天然ガス供給システムに基づいている。この強力な産業の起源は国内のものであり、ロシア各地のガス化はガスプロムの優先的な目標である。ここ数年、数百の地域で新たなガス化が進められ、天然ガスネットワークは全国で50%以上をカバーしている。しかし東ロシアは統一ガス供給システムでカバーされておらず、ガス化レベルは極端に低い。東ロシアにおけるガス化はガスプロムの中期計画の最優先目標である。